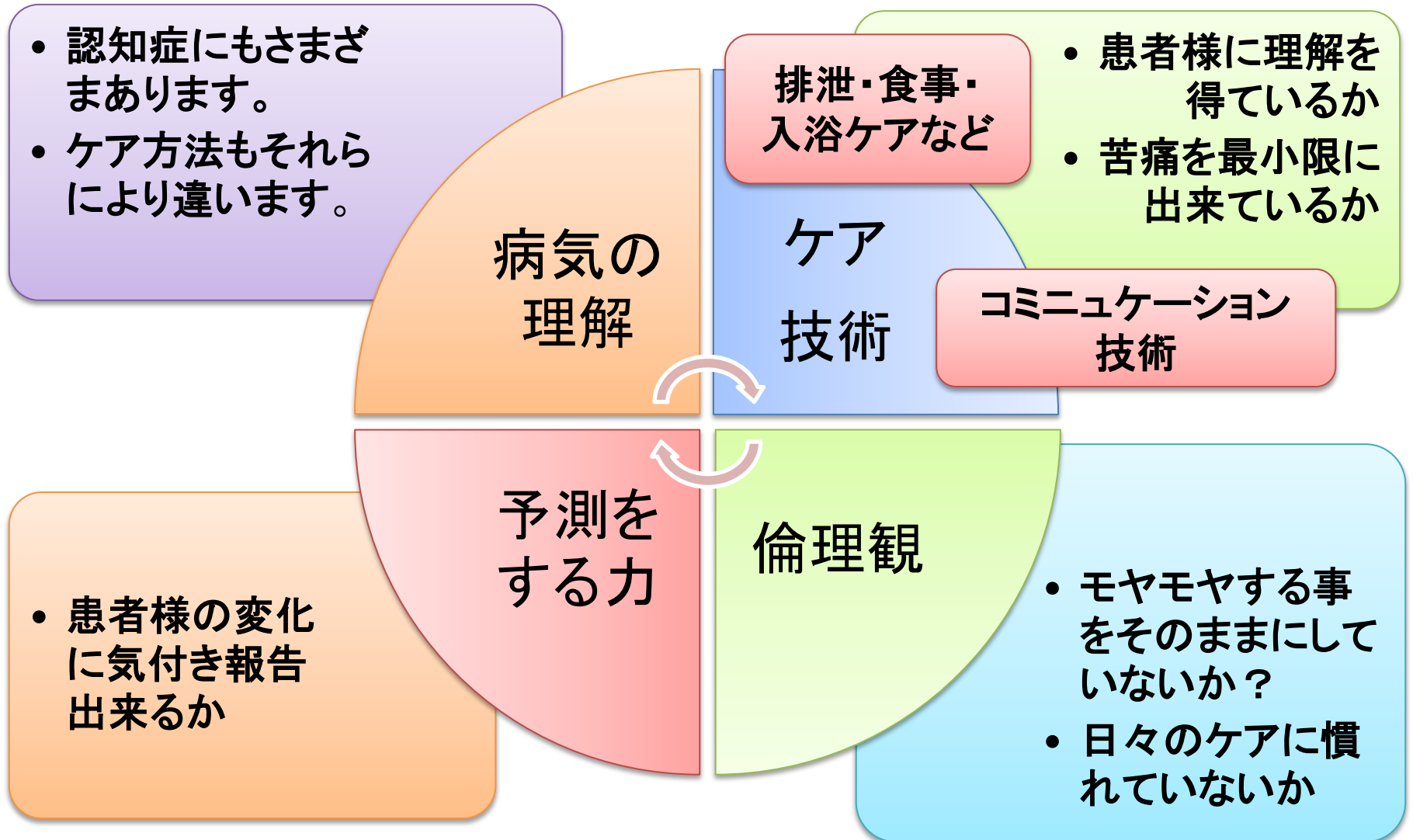


認知症ケアに携わる者に大切な事



コミュニケーション技術って何？

介護職の日々行うケアには

- ・排泄ケア
 - ・食事ケア
 - ・入浴ケア
- などがあります。



このほかに看護師がするものとして、

- ・薬を飲んでもらう
 - ・体調の確認
- などがあります。



◎さまざまなケアの始まりは相手への声掛けから始まります。

◎その際のコミュニケーションによりこれから始まるケアがスムーズに行えるか、行えないかが決まるといっても過言ではないです。

上手くコミュニケーションが取れないと

認知機能が低下しているため…
自分の状況がわからない

何をされるのか理解できるような説明がない…

何をするんだ！
怖い!!怖い!!
やめろー

視線も合わさず…
手や腕を掴まれ…
不安や恐怖でいっぱい(涙)

利用者さんは、体中を固くしてしまい…
ケアに協力できない状態になり、不安や興奮
などが助長されます。



一連のケア行動の流れ

相手にケア者の存在を知らせる

患者様の様子をうかがう

ケアの合意を取る



ケアを受けてくれた感謝を伝える

ケアを心地よく受けてもらう

一連のケア行動の流れ全てに心地よい
「見方・話し方・触れ方・笑顔・感謝」
の伝え方が必要です
これが**コミュニケーション技術**です

コミュニケーション技術は 施設内で統一したものが必要となる

- スタッフ1人がコミュニケーション技術はあっても

きちんとしたケア方法を確立出来ない

他の
スタッフは



その人にとって
◎どんな声掛けしたらいいの
◎タイミングっていつ
◎どうやってオムツかえるの

悪いケア



* BPSDが出現する
* 薬が増える
* 施設にいられない

認知症ケアにとって**統一した**
「コミュニケーション技術」が必要

「ユマニチュード」を軸にした コミュニケーション技術

・「人とは何か」「ケアをする人とは何か」を問う哲学にもとづいた実践的なケアの方法論である。

・「見る」「話す」「触れる」「立位援助」の4つの柱を基本とした包括的コミュニケーション技術で誰でも習得できるケア技術である。



参考: 本田 美和子 / イヴ・ジネスト / ロゼット・マレスコッティ 著
ユマニチュード入門 2014 医学書院

コミュニケーション技術について

・4つの柱

「見る」「話す」「触れる」「立位援助」

・5つのステップ

- 1、出会いの準備
- 2、ケアの準備
- 3、知覚の連結
- 4、感情の固定
- 5、再会の約束

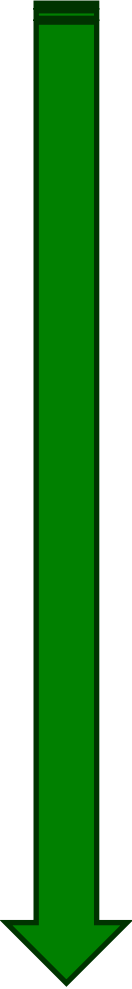


5つのステップを
踏みながら…
4つの柱を使う

どれも当たり前前の技術と思えますが…

できているつもりでも、実はできていないことに気づかされるのです。

5つのステップってなに？



1、出会いの準備	自分が来たことを知らせ反応を待つ。 ケアの予告をするプロセス。
2、ケアの準備	ケアについて合意を得るプロセス。 所要時間は20秒～3分。
3、知覚の連結	「見る」「話す」「触れる」を使いポジティブメッセージを伝え相手が心地よいと感じる状態にする。
4、感情の固定	気持ち良くケアできたという快の記憶をお互いに残し、次回のケアに繋げる。
5、再会の約束	感情は末期まで残るもの。 ポジティブな感情を記憶に残す。

ケアが定着するまでの道のり

経緯(行った事)	
フロアで「ユマニチュード」を軸としたコミュニケーション方法をフロアの理念にする	フロア長からの依頼
フロアにて「ユマチーム」を作る 対象:主任・リーダー・認知症の勉強をしたスタッフ・リーダー介護職・(月に1度の打ち合わせ)	ユマニチュードの本・ビデオを見る
主任・リーダー・認知症の勉強をしたスタッフで「ユマニチュード」の1日研修に参加	
スタッフにどのように伝達するか模索 (月に1度の打ち合わせ)	
フロア独自の「ユマニチュード」を軸とした、コミュニケーション技術の冊子を作成 (ユマチーム)	スタッフ全員に配布 (なかなか読むスタッフがない)
ユマチームで再度どのように伝達するか 何度も打ち合わせを行う (打ち合わせ多々)	

経緯(行った事)

5人程を1グループとして「冊子」より
病気の理解・コミュニケーション技術
(前篇・後篇)と3本立てにし、1つずつ
約30分程の伝達カンファを行う
(約20回以上の時間を要する)

カンファレンスまでに、
スタッフに「ユマニチュード」の本・及び配布した
フロアの資料に目を通して貰う

スタッフはどう思っているか？
スタッフの吐き出しカンファを5人1グループとして
行う
(約6回以上の時間を要する)

「こんなに大変なのに、カ
ンファばかりで腹が
立っていた」等本音を
言ってくれる

実際のケアの場で出来ているか？何が出来ていな
いか？
2名1組でチェックを行う

再度スタッフからの吐き出し作業を行う
(約6回以上の時間を要する)

「やってみたら、利用者さ
んの笑顔がみれた」と
言ってくれた。

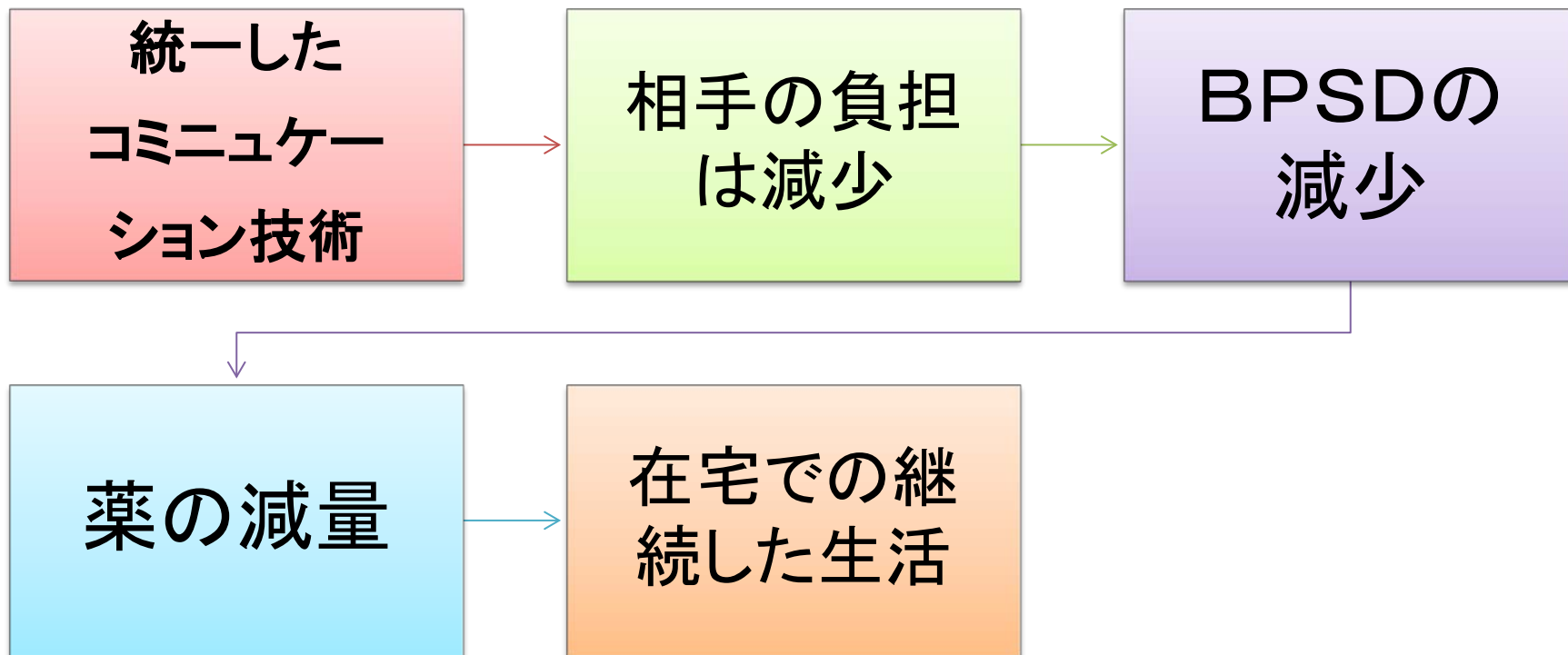
見方・話し方・接し方



みんな同じケアを
提供出来るようになった！！

約1年半！本当に大変だったけど
でもスタッフに笑顔が増えました

スタッフが統一した コミュニケーション技術を持つと



私達の役割